



# I35 INTEGRATED AMPLIFIER

User Guide

## はじめに

この度は PRIMARE プリメインアンプ I35 をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本取扱説明書には、本機設置や操作について重要な情報が含まれています。本説明書をお読みの上、設置や操作の詳細について充分にご理解いただき、正しくご使用の上、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

## 開梱

箱から商品を取り出して、中身を確認してください。

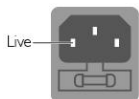
欠品がありましたら、直ちにお買い上げいただいた販売店に連絡してください。

本体	1台	電源ケーブル	1本
リモコン（単4乾電池×2）	1個	電源ケーブル用 2P/3P 変換プラグ	1個
Trigger ケーブル	1本	取扱説明書（本紙）	1冊
検電器（単4乾電池×2）	1個	保証書	1部

### 【エイジングについて】

本機がより良い状態に到達するために、最初に約 24 時間のエイジングを行ってください。その後、少なくとも約 3 日間のエイジングを経て、徐々に音質が向上していきます。

### 【検電器のご使用について】



本機には検電器が同梱されています。検電器が赤く点灯する側が、プラス（Hot, Live）になります。また本体リアパネルの IEC 電源コード差込口 (Ⓢ) は、左のピンがプラスになります。お好みで電源の極性を確認の上、本機をご使用いただけます。

### 【ご注意】

リモコンを使用する前に、付属の電池をリモコン本体にセットしてください。背面カバーを優しく押してスライドさせ、カバーを開いてください。極性に注意して乾電池をセットし、背面カバーを元の位置に戻したあと、押し込んでリモコン本体にカバーをはめ込んでください。

### 【ご注意】

電池を交換する際は、単4乾電池と交換してください。また古くなった乾電池は、環境に配慮し、お住まいの市町村の指示に従って適切に廃棄してください。

## 使用上の注意

本機の性能を十分に引き出し、また安全にご使用いただくため、以下の点にご注意ください。

- ◆ 分解、改造等は絶対にしないでください。法律で罰せられる場合があります。  
また改造等により発生した不具合は、保証の対象外となります。
- ◆ 本体カバー及びリアパネルは絶対に取り外さないでください。感電の恐れがあります。  
またお客さまによる修理は大変危険ですので、絶対にお止めください。故障・不具合が疑われる場合は、お買い上げいただいた販売店に修理を依頼してください。
- ◆ 本機は、FCC 基準パート 15 に準ずる、Class B デジタル電子機器の制限事項に準拠しています。  
そのため本機は無線通信を妨害しないよう設計されていますが、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、正しく設置しない場合、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。万一電波障害が発生した場合は、以下をお試しください。
  - ・レシーバーのアンテナの向きまたは設置場所を変更する
  - ・本機とレシーバーの距離を十分にとる
  - ・本機とレシーバーの電源系列を別の回路にする
  - ・テレビ/ラジオの専門技術者に問い合わせる
- ◆ 使用する場合は、本機との間に 20cm 程度のスペースを確保してください。
- ◆ 適切な機器とのみ接続してください。  
機器との接続に疑問がある場合は、お買い上げいただいた販売店等にご相談ください。
- ◆ ラックやスタンドを使用する場合は、オーディオ機器対応の製品を使用してください。  
また機器を載せた状態でラックやスタンドを移動させる場合は、転倒しないようご注意ください。
- ◆ クリーニングする場合は乾いた柔らかい布で拭いてください。研磨剤・溶剤等の入った洗剤を使用しないでください。  
またクリーニングする場合は、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
- ◆ 以下の場所には設置しないでください。火災や感電の恐れがあります。
  - ・火気、可燃物の近く
  - ・子どもの手の触れる場所
  - ・ベッド、ソファ、ラグ、カーペット等の柔らかい素材の上
  - ・本棚、物置き、キャビネット等の閉じた空間の中
  - ・キッチン、バスルーム、洗面所、プールサイド等、液体物の近く(水等の液体を近づけないでください)
  - ・ストーブ、ヒーター、暖炉、その他発熱する機器(アンプを含む)等、暖房器具の近く
  - ・直接日光が当たる場所、風通しの悪い場所、埃の多い場所、極端に暑い場所、寒い場所、湿度の高い場所
- ◆ 本機に物を落としたり、液体物を噴霧したりしないようご注意ください。故障の原因になります。
- ◆ オーバーヒートを防ぐため、周囲に十分なスペース(最低 50mm)を確保してください。  
また本機の上に直接物を置かないでください。
- ◆ AC100V 以外の電圧では使用しないでください。  
また付属の電源ケーブルは本機専用です。他の機器に使用しないでください。
- ◆ 電源ケーブルは、結んだり、巻き付けたり、踏んだりしないようご注意ください。火災や感電の恐れがあります。  
また本体主電源 ON/スタンバイモードの場合も、本体には微量の電流が流れ込んでいます。  
落雷の恐れがある場合や長期間使用しない場合は、本体主電源を OFF にして、電源ケーブルを抜いてください。
- ◆ 電気配線(電力線)の近くに、アウトドア用のアンテナを設置しないでください。
- ◆ ヒューズを交換する場合は、同じ定格のヒューズを使用してください。
- ◆ 寒い場所から暖かい場所に急に移動させると、内部で結露を起こします。移動させる場合は、最低 1 時間は電源を入れずに待ち、室内温との差がなくなってから電源を入れてください。
- ◆ 煙が出ている、異臭がする、異音がする等の異常が確認された場合は、直ちに本体の電源スイッチを切り、必ず電源ケーブルを壁コンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の恐れがあります。速やかにお買い上げいただいた販売店に修理を依頼してください。

## 各部説明

### リアパネル

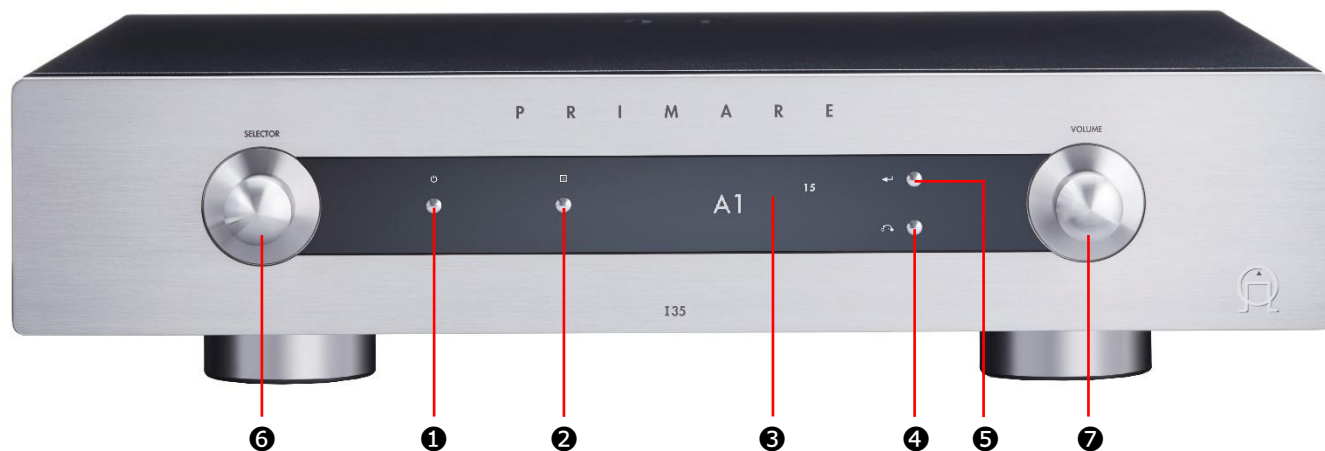
※図中の番号は下記の説明文の番号を表しています。



①	<b>ANALOG IN</b>	A1・A2 : XLR (バランス) アナログ入力端子 A3・A4・A5 : RCA (アンバランス) アナログ入力端子
②	<b>ANALOG OUT</b>	LINE : RCA (アンバランス) アナログ出力端子 PRE : RCA (アンバランス) アナログ出力端子
③	<b>SPEAKER OUT</b>	スピーカー出カターミナル
④	<b>RS232</b>	コントロール端子
⑤	<b>TRIG OUT</b>	Trigger 入出力端子を備えた機器と連動して、電源 ON/OFF が可能
⑥	<b>IR IN/OUT</b>	IR 入出力端子を備えた機器と連動して、電源 ON/OFF が可能
⑦	<b>AC FUSE HOLDER</b>	ヒューズホルダー
⑧	<b>AC INPUT</b>	IEC 電源コード差込口
⑨	<b>POWER ON/OFF</b>	本体主電源の On/Off を行います。

### フロントパネル

※図中の番号は下記の説明文の番号を表しています。

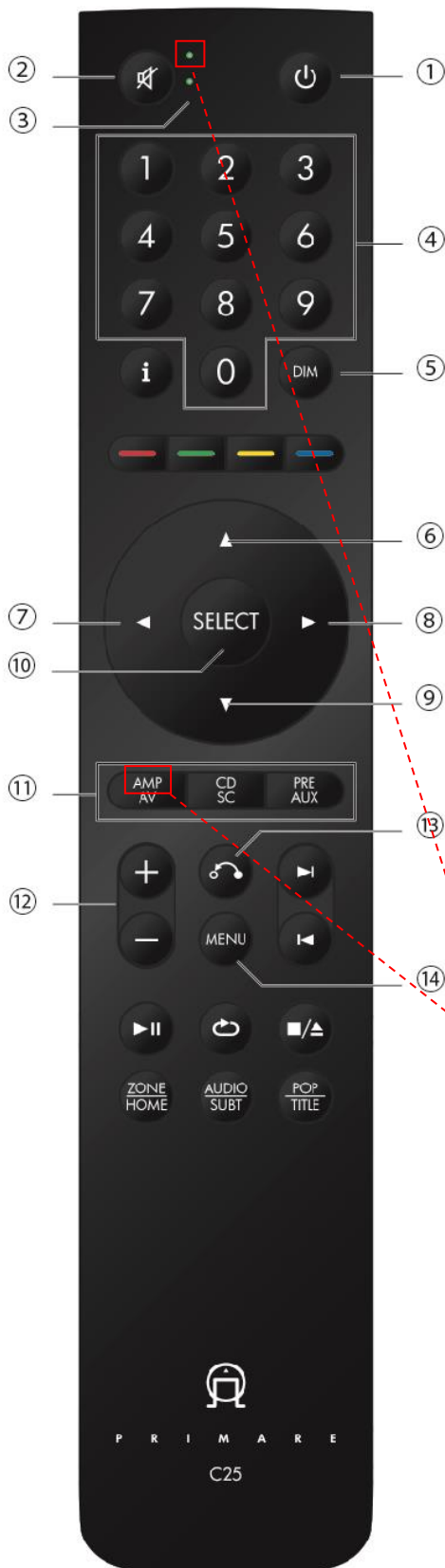


①	<b>POWER ON/OFF</b>	スタンバイモード(待機状態)の On/Off を行います。
②	<b>MENU BUTTON</b>	設定メニューの表示、終了を行います。
③	<b>DISPLAY</b>	ディスプレイ

④	<b>BACK BUTTON</b>	メニュー画面で、一つ前の項目に戻る場合、または設定をキャンセルする場合に使用します。
⑤	<b>SELECT BUTTON</b>	メニュー項目の決定を行います。
⑥	<b>INPUT SELECTOR</b>	ノブを回して、入力モードを選択・変更します。またメニュー項目の移動に使用します。
⑦	<b>VOLUME CONTROL</b>	ノブを回して、音量を調整します。※0(無音)~99(最大) となります

## リモコン「C25」

※図中の番号は下記の説明文の番号を表しています。



①	<b>POWER ON/OFF</b>	スタンバイモード(待機状態)の On/Off を行います。ボタン長押しで、全ての PRIMARE 製品をスタンバイモードにします。
②	<b>MUTE</b>	音量をミュート(消音)します。
③	<b>INDICATOR</b>	各種ボタンを押すと、インジケータが点灯します。 上段：AMP / CD / PRE モードの場合 下段：AV / SC / AUX モードの場合
④	<b>NUMBER</b>	入力またはトラックナンバーを選択します。 2桁の数字を選択する場合は、最初の1桁目をボタン長押しで選択し、その後2桁目を選択します。
⑤	<b>DIM</b>	ディスプレイの明るさを変更します。
⑥	△	上へ移動。メニュー項目の移動に使用します。 音量調節にもご使用いただけます。
⑦	◀	左へ移動。メニュー項目の移動に使用します。 入力選択にもご使用いただけます。
⑧	▶	右へ移動。メニュー項目の移動に使用します。 入力選択にもご使用いただけます。
⑨	▽	下へ移動。メニュー項目の移動に使用します。 音量調節にもご使用いただけます。
⑩	<b>SELECT</b>	メニュー項目の決定を行います。
⑪	<b>MODE</b>	リモコンモードを選択します。下段のデバイスモードを選択する場合は、ボタンを2回押ししてください。
⑫	<b>VOLUME</b>	音量を調整します。※0(無音)~99(最大) となります
⑬	🔙	メニュー画面で、一つ前の項目に戻る場合、または設定をキャンセルする場合に使用します。
⑭	<b>MENU</b>	設定メニューの表示、終了を行います。

### 【ご注意】

操作を開始する前に、MODE ボタン (⑪) の「AMP/AV」を1回押しして **AMPモード** を選択してください。他の製品を操作する場合は、改めて MODE ボタンからリモコンモードを変更してください。  
「AMP/AV」をすばやく2回押した場合、AVモードになり、リモコン操作を受け付けなくなってしまう。「AMP/AV」を一回押しして INDICATOR (③) の上段が光っていることを確認してください。

### 【ご注意】

リモコン「C25」は、「C24」と互換性がありません。C25から旧製品の操作はできません。またC24から本機の操作はできません。

※説明のないボタンはI35では使用しません。

## 使用方法

### ■ Connecting Mains Power 接続方法

- (1) 本体を所定の場所に設置します。
- (2) 最初に付属の電源ケーブルを、リアパネルの電源コード差込口 (⑥) に挿入してください。  
その後、壁面の電源コンセントに接続します。

#### 【ご注意】

長期間使用しない場合は、本体主電源を OFF にして、電源ケーブルを抜いてください。  
またケーブル接続を変更する場合も、本体主電源を OFF にして、電源ケーブルを抜いてください。

- (3) リアパネルの本体主電源 (⑨) を On にします。
- (4) フロントパネルのスタンバイインジケータが点灯します。

### ■ Switching On 起動方法

<本体フロントパネルからの起動>

- (1) フロントパネルの POWER ボタン (①) を押します。
- (2) フロントパネルのディスプレイ (③) が点灯し、「PRIMARE」の文字が表示されます。

<リモコンからの起動>

- (1) リモコンの POWER ボタン (①) を押します。
- (2) フロントパネルのディスプレイ (③) が点灯し、「PRIMARE」の文字が表示されます。

### ■ Using the I35 with CD35 シリーズ製品連結方法

- … 2本の Trigger ケーブルを使用して、CD35 と I35 の電源 On/Off を連動させることが可能です。
- (1) CD35 の Trigger Out と、I35 の Trigger In をケーブルで接続してください。
  - (2) I35 の Trigger Out と、CD35 の Trigger In をケーブルで接続してください。

### ■ Using the Controls 操作方法

#### (1) 入力モード選択

- … フロントパネルの INPUT SELECTOR (⑥) を回す、またはリモコンの 1~5 (④)、◀ (⑦)、▶ (⑧) を押して、入力モードを選択します。各入力モードの名称は任意の名称に変更可能です。詳しくは、「各種設定」の「Input Setting」「(2) ALIAS」をご参照ください。

A1, A2	XLR (バランス) アナログ入力端子
A3, A4, A5	RCA (アンバランス) アナログ入力端子

#### (2) ディスプレイ

- … リモコンの DIM ボタン (⑤) を押して、ディスプレイの明るさを 3 段階 + OFF から選択できます。  
OFF を選択した場合、ディスプレイは消灯されますが、本体を操作すれば一時的にディスプレイが表示されます。

#### ■ オートディム機能

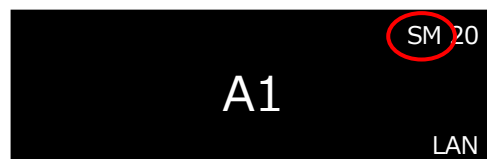
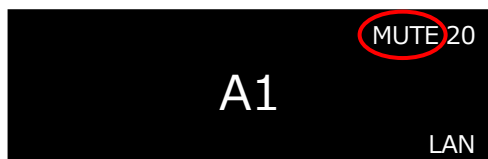
本機は、一定時間使用しない場合、自動的にディスプレイを減光するオートディム機能を搭載しています。  
オートディム機能は初期設定で 10 分に設定されています。自動減光までの時間は、複数の設定から選択することが可能です。詳しくは、「各種設定」の「General Setting」「(3) AUTO DIM」をご参照ください。

### (3) 消音 (ミュート)

…本機には 1. 「MUTE」と 2. 「SPEAKER-MUTE」二種類のミュート(消音)方法の切替が可能です。  
リモコンの MUTE ボタン (②) を 短押し (「MUTE」) もしくは 長押し (「SPEAKER-MUTE」) で切り替えます。  
それぞれディスプレイの右上に「MUTE」「SM」と表示されます。

1. **MUTE**: PRE 及び SPEAKER OUT をミュートします。ミュート中は、ディスプレイの右上に「MUTE」と表示されます。  
リモコンの MUTE ボタン (②) を短押し、またはボリュームを変更して解除します。

2. **SPEAKER-MUTE**: スピーカー出力をミュートします (※PRE/LINE OUT には影響しません)。ミュート中は、ディスプレイの右上に「SM」と表示されます。このモードのボリュームは PRE OUT 出力のみ有効です。ヘッドフォンアンプなどを別途接続し、本機でボリュームコントロールを行う場合になどに使用します。リモコンの MUTE ボタン (②) を長押し、または Audio Setting/SPEAKER MUTE メニューで解除します (P8 参照)。解除した際は、(2) STARTUP VOLUME の値で復帰します。



## 各種設定


### ■ Display the Setting Menu 設定メニューの表示

(1) フロントパネルの MENU ボタン (②) またはリモコンの MENU ボタン(⑭)を押すと、ディスプレイに設定メニューが表示されます。




(2) 各種ボタンを押して、設定メニュー項目を選択します。現在選択中の項目が白いハイライトで表示されます。

<本体フロントパネルからの操作>

<b>INPUT SELECTOR</b>	メニュー項目の移動、または設定値の調整に使用します。
<b>SELECT BUTTON</b>	設定を選択、または編集した設定を保存する。
	一つ前の項目に戻る、または編集した設定をキャンセルする。

<リモコンからの操作>

△ ◀ ▶ ▽	メニュー項目の移動、または設定値の調整に使用します。
<b>SELECT</b>	設定を選択、または編集した設定を保存する。
	一つ前の項目に戻る、または編集した設定をキャンセルする。

(3) フロントパネルの MENU ボタン (②) またはリモコンの MENU ボタン(⑭)を押して、設定メニューを閉じます。

## ■ Input Setting 入力モード設定

- (1) INPUT … 現在選択中の入力モードを表示します。他の入力モードを確認する場合は、項目選択後、フロントパネルの INPUT SELECTOR、またはリモコンの左右から切り替えます。



- (2) ALIAS … 現在選択中の入力モードの、モード名称を変更します。項目選択後、入力したい文字を選択して、以下の手順でモード名称を決定します。

ADD NEW CHARACTER : 引き続き、次の文字を入力します (最大 6 文字入力可能)  
CONFIRM '●' : 「● (入力したテキスト)」を新しいモード名称として登録します  
CLEAR ALIAS : 入力したモード名称をキャンセルします

- (3) STATUS … 現在選択中の入力モードの、有効 (初期値)、無効を選択します。  
無効を選択した場合、入力切り替え時に表示されなくなります。

- (4) AUTO SENSE … 現在選択中の入力モードについて、自動的に入力モードを選択する機能を有効にします。

SELECT : 信号を検出した入力モードを自動的に選択する  
WAKE+SELECT : スタンバイモードから自動的に復帰して、信号を検出した入力モードを自動的に選択する  
OFF : 自動入力モード選択を使用しない (初期値)

### ■ オートセンス機能

本機は、信号を検出した入力モードを自動的に選択するオートセンス機能を搭載しています。「SELECT」または「WAKE+SELECT」を選択している場合、新たに入力を自動切り換えするため、1 分間のインターバル (信号を受信していない状態)が必要となります。自動で切り替わらない場合は、少し時間を置いてください。

- (5) VOLUME … 現在選択中の入力モードについて、ボリューム設定の VARIABLE (可変)、FIXED (固定) を選択します。

VARIABLE (可変) : 音量を調整可能 (初期値)  
FIXED (固定) : 入力ゲインが 0dB 設定の場合、ボリューム設定 66 相当の固定音量が出力されます

### 【ご注意】

ボリューム設定を「FIXED (固定)」に設定した場合、大きな音が出ますので、ご注意ください。

### ■ AV アンプと組み合わせたセットアップ

ボリューム設定を「FIXED (固定)」に設定することで、AV アンプなどと組み合わせるためのパススルー出力が可能です。

- (6) INPUT GAIN … 現在選択中の入力モードについて、-30dB から 30dB までの入力ゲインを設定します (初期値 0dB)。

### 【ご注意】

入力ゲイン設定が高すぎる場合、音質に歪みが生じる恐れがあります。ディスプレイに「DECREASE INPUT GAIN」と注意メッセージが出た場合は、メッセージがでなくなるまで、入力ゲイン設定を下げてください。



- (7) INPUT BALANCE … 現在選択中の入力モードの、左右のバランスを調整します（初期値/センター 00LR00, 左端/00LR-9, 右端/-9LR00）。

※この設定は A1～A5 アナログ入力のみ表示されます。オプションボード DM35/SM35 のデジタル入力の場合は表示されません。

## ■ Audio Setting オーディオ設定

- (1) BALANCE … 左右のバランスを調整します（初期値/センター 00LR00, 左端/00LR-9, 右端/-9LR00）。
- (2) STARTUP VOLUME … 本機を起動した際のボリュームを、0～60 の間で調整します（初期値 20）。
- (3) MAXIMUM VOLUME … 本機の最大ボリュームを、0～99 の間で調整します（初期値 99）。
- (4) MUTE VOLUME … 本機をミュートした際のボリュームを、0～30 の間で調整します（初期値 0）。  
現在の音量が、設定したミュートボリュームより低い場合は、ミュート時の音量は 0 になります。
- (5) SPEAKER MUTE … スピーカー出力のミュートの、ON/OFF を行います（P6 参照）。

## ■ General Setting 一般設定

- (1) SHOW INPUTS … 表示する入力モード形式を切り替える機能  
ALL : 全ての入力モードを表示（初期値）  
WITH SIGNAL : 信号を検出している入力モードだけ表示
- (2) FRONT PANEL … フロントパネルのノブ・ボタンからの操作をロックする機能  
UNLOCKED : フロントパネルのノブ・ボタンから操作可能（初期値）  
LOCKED : フロントパネルのノブ・ボタンから操作不可能。設定を UNLOCKED に戻す場合は、リモコンから設定メニューを開いて再度 UNLOCKED を選択するか、本体の電源を数秒落としてください
- (3) AUTO DIM … 一定時間後に、自動的にディスプレイを減光する機能  
AFTER 1MIN : 約 1 分後に自動減光する  
AFTER 5MIN : 約 5 分後に自動減光する  
AFTER 10MIN : 約 10 分後に自動減光する（初期値）  
OFF : 自動減光しない
- (4) LED BRIGHTNESS … ディスプレイのそれぞれの明度を、レベル 1～5 から選択する機能  
DIM HIGH : 1～5（初期値：3）                      DIM MID : 1～5（初期値：2）  
DIM LOW : 1～5（初期値：1）                      DIM OFF : 1～5（初期値：1）
- (5) STANDBY SETTINGS … 一定時間後に、自動的に本体をスタンバイモードにする機能（オートスタンバイ機能）  
AFTER 10MIN : 約 10 分後に、自動的にスタンバイモードに移行する  
AFTER 15MIN : 約 15 分後に、自動的にスタンバイモードに移行する  
AFTER 20MIN : 約 20 分後に、自動的にスタンバイモードに移行する（初期値）  
OFF : オートスタンバイ機能を使用しない

### ■ オートスタンバイ機能

本機は、一定時間使用しない場合または一定時間入力信号がない場合、自動的に本体をスタンバイモードにするオートスタンバイ機能を搭載しています。オートスタンバイ機能は初期設定で 20 分に設定されています。故障ではありませんのでご安心ください。

- (6) FACTORY RESET … 本体を工場出荷時の初期設定にリセットする機能。選択すると、再度確認画面が出ますので、本体をリセット(初期化)する場合は「YES」を、キャンセルする場合は「NO」を選択してください  
 ※ ファクトリーリセットは、フロントパネルの POWER ON/OFF ボタン(①)を、10 秒間長押しすることでも可能です
- (7) FIRMWARE VERSIONS … インストールされたファームウェアのバージョンを確認します  
 ※ ファームウェアのバージョン確認は、フロントパネルの POWER ON/OFF ボタン(①)を、長押しすることでも可能です

## トラブルシューティング

不具合が疑われる場合は、まずは全ての接続をご確認ください。また本機以外の原因も考えられますので、接続した機器の使用方法もあわせてご確認ください。下記は、一般的な問題症状と考えられる解決策になります。下記対策後も動作に変化が見られない場合は、お買い上げいただいた販売店または株式会社ナスペックまでお問い合わせください。

症状	原因	対策
1.電源が入らない。	電源ケーブルが正しく接続されていない。	電源ケーブルを奥までしっかり差し込んでください。
	本体主電源が Off になっている。	リアパネル右上の本体主電源を On にしてください。
2.スピーカーから音が出ない。	オーディオ信号が正しく入力/出力されていない。	全ての接続を確認してください。
	スピーカーが正しく接続されていない。	リアパネルのスピーカー接続を確認してください。
	入力モード選択が間違っている。	正しい入力モードを選択してください。また、再生中の入力ソースを再度ご確認ください。
	本体がオーバーヒートしている。	本体を冷ましてください。本体周りの風通しを確保していただくか、再生音量を下げてください。
3.出力される音がとても小さい。	本体がミュートになっている。	音量設定を確認の上、リモコンの MUTE ボタンを押して、ミュート状態を解除してください。
4.スピーカーの低音出力が弱い、または出ていない。	スピーカーが逆相で接続されている。	スピーカー接続の極性を確認してください。
5.スピーカーから雑音がある。	接続に問題があるか、ケーブル不良が発生している。	全ての接続、極性を確認してください。違うケーブルに交換してみてください。
6.リモコンが作動しない。	電池が切れている。	リモコンの電池を交換してください。
	蛍光灯や他の電気機器等の妨害にあっている。	インバーター式の蛍光灯をご使用の場合、信号を妨害している可能性があります。蛍光灯を消して、再度お試しください。
	位置や角度に問題がある。	本体から遠いまたは角度が急な場合、信号が届かない場合があります。位置や角度を変えて、再度お試しください。

## Specifications

出力	150W + 150W(8Ω) / 300W + 300W(4Ω)
周波数特性	20Hz - 20kHz , -0.2dB
S/N 比	>100dB / AES17 Filter
THD+N	<0.01% , 20Hz-20kHz , 10W at 8Ωr
入力系統	バランス XLR × 2 / アンバランス RCA × 3
入力インピーダンス	XLR 30kΩ / RCA 15kΩ
出力系統	ラインアウト RCA × 1 / プリアウト RCA × 1
出カインピーダンス	100Ω (ライン、プリアウト共)
プリ出力ゲイン	16.5dB(RCA 入力時) / 10.5dB(XLR 入力時)
スピーカー出力ゲイン	42.5dB(RCA 入力時) / 36.5dB(XLR 入力時)
アンプモジュール	PRIMARE UFPD2
電源	PRIMARE APFC
コントロール端子	RS232 / Trigger 出力 / IR 入出力
消費電力	スタンバイ時 0.5W / アクティブ時 32W
サイズ	W430 × H106 × D382(420 : 突起物含む)mm
重量	10.5Kg

※ PRIMARE 製品の XLR 端子は、2 番 HOT となっております。

PRIMARE は、常により洗練されたデザイン・設計を目指し、製品の改善に努めています。  
そのためデザイン、性能等、事前の予告なしに変更される場合がございます。  
また本製品の輸送に必要な購入時の箱は、必ず保管しておいてください。

## 保証

本機の保証は株式会社ナスベックが行います。

詳しくは、株式会社ナスベックの HP/サポートページ(<http://naspecaudio.com/support/>)をご確認ください。

修理の際は、販売店または株式会社ナスベックにお問い合わせください。

※修理についてのご質問・送り先は、下記 本社/サービスセンターにてお受け致しております。

詳しいお問い合わせは **PRIMARE 日本輸入総代理店 株式会社ナスベック**まで




株式会社ナスベック  
〒500-8386 岐阜県岐阜市藪田西 1-4-5

HP : <http://naspecaudio.com>

TEL : 058-215-7510

FAX : 058-268-7118

 : 0120-932-455

E-mail : [support@naspecaudio.com](mailto:support@naspecaudio.com)

2020.5.19 (MCU 3.04~ / Ver 1.04)